TOKYO
Teshigoto

「東京手仕事」とは

東京の「伝統工芸品」は、進取の精神に富む江戸職人の匠の技と心意気によって、磨かれ、洗練され、そして市民に愛されて連綿と受け継がれてきました。

「東京手仕事」は、そんな伝統の技に光を当て、匠の繊細な「手仕事」の魅力を国内はもとより世界に発信していく取り組みです。

その「粋」で「いなせ」な味わい、優れた機能性・日常性を広く知っていただくとともに、東京らしい感性溢れる新しい工芸品にもチャレンジし、「伝統工芸品」に囲まれた潤いある豊かなライフスタイルを提案していきます。

愛しき道具

籐と和紙のうちわ

職人
木内 秀樹

デザイナー
大村 卓

特徴

技術・技法

開発において苦労・工夫した点

木内籐材工業

籐と和紙のうちわ

Rattan and Washi Japanese paper Fan

和紙の原料　楮（こうぞ）

クワ科の落葉低木で、春から秋にかけて3〜4mに成長する。古くから和紙材料として知られており、幹ではなく皮の部分の繊維を利用する。楮（こうぞ）の皮の繊維は、長く強靭のため、薄くて強い和紙をつくることが可能である。